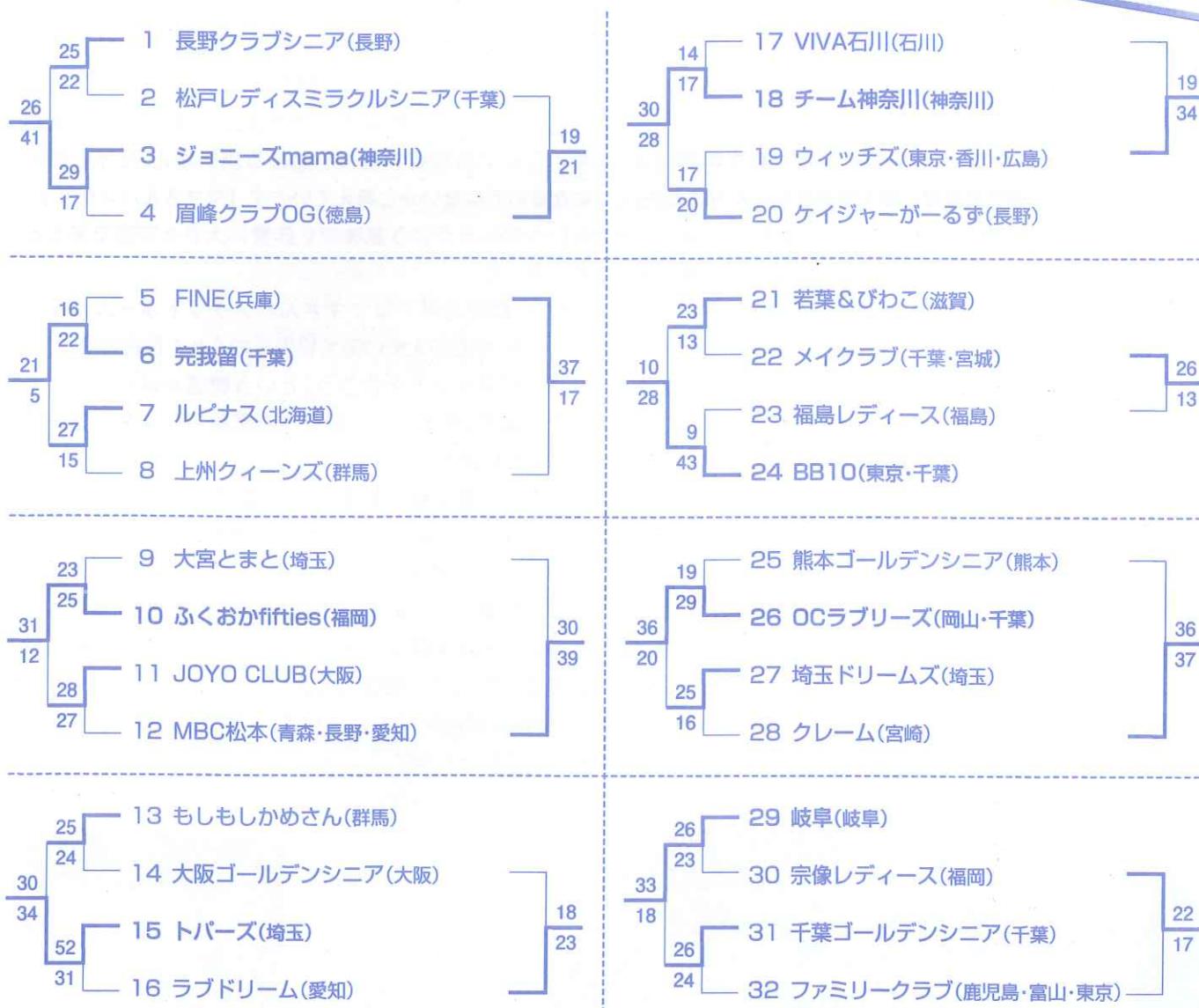


◆◆◆◆◆ 第7回ゴールデンシニアバスケットボール大会開催 ◆◆◆◆◆

ねんりんピック鹿児島2008の協賛イベント・第7回ゴールデンシニアバスケットボール大会(50歳以上)が10月25日(土)・26日(日)の両日、鹿児島県姶良郡蒲生町で開催されました。全国から32チームが集まり、若々しいハッスルプレーが随所に見られました。

試合結果

会場:鹿児島県蒲生町総合体育館・蒲生町立蒲生中学校体育館



全国ゴールデンシニア大会参加者数状況(第1回~第7回)

回	開催地	チーム数	選手数	監督・コーチ他	参加者計	備考
1(H14年)	福島県福島市	11	110	8	118	懇親会有
2(H15年)	徳島県板野郡北島町	13	134	13	147	
3(H16年)	群馬県邑楽郡中之条町	20	220	26	246	懇親会有
4(H17年)	福岡県宗像市	26	261	26	287	
5(H18年)	静岡県静岡市	32	321	42	373	懇親会有
6(H19年)	茨城県日立市	32	351	47	398	
7(H20年)	鹿児島県姶良郡蒲生町	32	319	41	360	懇親会有

大会開催にあたり、地元鹿児島県、鹿児島県バスケットボール協会、

その他関係者皆様に多大なるご尽力を頂きました。

大会の窓口となりご指導を頂きました

鹿児島県バスケットボール協会 副理事長 隈本昭朗様に大会の感想をお寄せ頂きました。

ゴールデンシニア2008に寄せて

鹿児島県バスケットボール協会 副理事長 隈本 昭朗

「ソコ、走れ！」「ここ守るよー！」「イタイワネ」、ルーズボールに飛び込む選手がいる。声を出しチームメートに指示する選手がいる。2008年10月25, 26日鹿児島県姶良郡蒲生町総合体育館「おくすアリーナ」での光景です。会場は全国から参加された選手の熱気で溢っていました。

「第7回全国ゴールデンシニアバスケットボール大会」で鹿児島県バスケットボール協会の担当をさせていただいた隈本でございます。大会開催に当たり日本家庭婦人バスケットボール連盟の皆様には大変お世話になりました。大会を終えて感じた事を記させていただきます。

大会当日、選手の皆さんのバスケットボールに取り組む姿勢は、鹿児島県役員団だけでなく運営補助員として参加していた姶良地区中学生と鹿児島工業高等専門学校のバスケ部員達にも大きな感動と刺激を与えてくれました。バスケットをプレーする時、必ず指導される「声を出す」、「ルーズボールを諦めず追う」、「頑張る」、「楽しむ」の基本を皆さんのが体現されているからです。そして、小生がもっと感動したのは、コート上のプレーを大きく超えた夜の懇親会での皆さんのパワーです。懇親会参加の皆さんと話して感じたバスケットボールに対する愛情と情熱です。参加資格が49歳以上という、30年、40年と競技を続けていれば身体に負担がかかり、常に「引退」という二文字が頭に有りながら続けている情熱と愛情です。

小生もバスケットボールが大好きです。もっと多くの

人達にバスケットボールの楽しさを知ってもらいたい。もっと多くの人がプレーしていればバスケットボールがもっと盛んになる。その為には小学生、中学生の子供達の競技人口を増やすことと同時に大人になっても競技を続けられる環境を整備していくことが大事だと考えています。大人の競技人口が増えれば親のプレーする姿を見てバスケットボールを始める子供達が増え、子供がプレーを始めることで指導者の勉強を始める親が増え、もっと盛んになるのではないかと考えています。「ママさんバスケット」という場はそういう意味でも非常に大きな存在であると感じました。

現在、鹿児島県ではママさんバスケットボールは有りませんが、今回の大会の運営協力してくれた役員の中に「ママさんバスケットを作ろう」という機運が盛り上がって来ています。何とかこの機会に鹿児島でも立ち上げたいと考えています。

平成20年度は鹿児島県では「全国ゴールデンシニア」の開催、JBL2に「レノヴァ鹿児島」が参戦し、21年度には「全国中学生バスケットボール大会」が開催されるという大きな出来事が続きます。この勢いで、もっと鹿児島のバスケットボールを盛り上げられるよう、運営、審判、指導、競技者として、もう一頑張りしたいと思います。

「日本家庭婦人バスケットボール連盟」の益々のご発展をお祈りいたします。





埼玉県家庭婦人バスケットボール連盟(1978年設立)

会長 永井孝一
 理事長 廣田悦子
 登録チーム数 27チーム
 登録人数 473名

第5回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(草加市)

30周年を迎えて

埼玉県家庭婦人バスケットボール連盟 理事長 廣田悦子

埼玉県家庭婦人バスケットボール連盟は、1978年(昭和53年)に全国で初の家庭婦人バスケットボール連盟として設立されました。また同年、草加市で開催された親善試合が、全国ママさんバスケットボール交歓大会の草分けだったと聞いております。

2007年(平成19年)に、日本家庭婦人バスケットボール連盟橋本会長はじめ、日本家庭婦人バスケットボール連盟、関東家庭婦人バスケットボール連盟、埼玉県バスケットボール協会、その他多くの方々にご臨席いただき、無事に30周年の記念式典、祝賀会を行う事ができました。同年記念誌の製作もいたしました。

1992年(平成4年)に女性による審判活動を行うことを目的として、審判部(のちの審判委員会)を設置し、審判、T.O育成を図っており、1996年(平成8年)には総務委員会、競技委員会を設置、各チームより2名選出された理事が各専門委員会に属し、連盟の運営(総会、理事会、各種大会)をしております。

現在、登録チームは27チーム、登録人数は492名となっており、年3回の大会(交歓大会、選手権大会、シニア大会)を行っております。

また、1997年(平成9年)の第3回関東交歓大会(草加市)、2005年(平成17年)の第11回関東交歓大会(さいたま市)では、連盟の総力を結集し、ママさんならではのとても素晴らしい大会となりました。

埼玉県家庭婦人バスケットボール連盟 創立30周年記念式典



20

周年



千葉県家庭婦人バスケットボール連盟(1988年設立)

会長 渡部嘉子
 理事長 杉浦八重子
 登録チーム数 28チーム
 登録人数 535名

第2回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(千葉市)
 第26回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(千葉市)

「振り返る時」そして「思い馳せる時」

千葉県家庭婦人バスケットボール連盟 理事長 杉浦八重子

1988年(昭和63年)の設立から早20年が過ぎました。1981年より組織活動をしていた松戸市家庭婦人連盟(会長 武井宏允)より理事長・事務局長・事務局員を選出し10チーム214名で活動を開始しました。以後、運営においては事務局を輪番制にし、チーム選出の理事で専門委員会(総務・競技・審判)を組織し大会運営に当たっております。1995年第1回関東ママさん交歓大会(船橋市)開催や全国大会出場などを経る中で、登録・移籍・大会出場規定を鑑みて、連盟規約・決議事項の改訂を重ねながら活動の充実と発展に努力してまいりました。特にママさん審判員の養成に力をいれ、1994年第1回連盟審判講習会の開催を機に年2回の講習会を継続し、現在では日本公認10名、県公認16名、連盟公認24名となりました。2004年第10回関東ママさん交歓大会と2007年第26回全国ママさん交歓大会では、県外からも協力を得て全試合を女性審判員で行なうことを実現しました。又、選手サポート事業としてテーピングコーナー(1999年~)とキッズルームを開設し、全国大会の折には多くの選手にご利用いただくことができました。

近年、選手の年齢層が一段と広くなり年3回の県内大会においては2大会にゴールデンシニアの部を設けることになりました。20周年を迎える28チーム532名が趣向を凝らした「チーム紹介」ページがぎっしり詰った記念誌と1982~2008年の全大会記録を網羅(全国大会には延べ91チーム出場)した記録誌を発行し、30周年に向けて新たな一歩を踏み出したところです。

《周年行事について》式典では協賛会社、役員、選手の功績を讃える表彰を行います。

1993年 連盟結成5周年記念木更津大会・記念パーティの開催

*植松仁子会長寄贈により連盟旗完成

1998年 創立10周年記念大会「パワフル・シニア交歓大会」・記念式典・祝賀会の開催と記念誌発行
 *後援会が設立されました

2003年 創立15周年記念夏季交歓大会・記念式典・記念パーティの開催

2008年 創立20周年記念大会「パワフル・ゴールデンシニア交歓大会」・記念式典・祝賀会の開催と記念誌・記録誌発行
 *2007年日韓ママさん親善大会・第26回全国ママさん交歓大会の開催と2008年日韓親善大会訪韓は20周年を迎えるにあたり最も記念すべき事業となりました。



2004年
 初キッズルーム設置の緊張感!



2007年秋季交歓大会表彰式



2008年
 日韓親善試合
 in韓国ソウル市
 (白が千葉県)

10
周年

岩手県ママさんバスケットボール連盟(1997年設立)

会長 小山恵子 登録チーム数 2チーム
理事長 工藤恵子 登録人数 28名

10周年を迎えて～平成と共に結成20年～

岩手県ママさんバスケットボール連盟 会長 小山恵子

岩手県ママさんバスケットボール連盟は、『平成』が始まる年に結成され、日本家庭婦人バスケットボール連盟に登録をして今年で10年になりました。結成の年から毎年全国大会へチームを派遣しておりましたが20年の節目に当たる今年度はチーム派遣をすることができず残念でした。

当連盟では、ママさん大会の開催を年に2回行っています。1つは5月の全国大会の予選を兼ねた『交歓大会』。もう1つは秋に行う『交流大会』です。これらの大会には毎年10~13程度のチームが集まり、試合・審判・オフィシャルの全てをママさんで行います。もちろん審判・コーチ・子守には旦那様達の協力を頂きますし、県協会からママさん審判部も派遣して頂いております。また、5年前まで大会ごとにアキレス腱断裂など家事に支障をきたす怪我をする方がいたため、前会長の関川顧問の提言により開会式にジャズ体操を取り入れるようになりました。このインストラクターもママさん選手の中からお願いしておりますし、それ以来大怪我をする方がいなくなり大変好評を得ております。

さて、岩手県の女性選手は毎年のその数が減少しそれと共にママさん選手も減少しているのが現状です。ですから、大会にはクラブ連盟に登録しているママさん達もオープンで出場していただき、ママさん連盟に移行しやすい環境作りをしております。今年の大会は全国予選を行わなかった為、若いクラブ対シニアチームの対戦や、クラブ対クラブのスピードあふれるゲームもあり例年とは一味違う大会となりました。

岩手県連盟は、このようなママさん選手のふれあいの中から競技スポーツとしてのバスケットから生涯スポーツとしてのバスケットへと楽しみながらバスケットを続ける選手の為によりよい大会運営に取り組んでまいりたいと思います。

10
周年

栃木県家庭婦人バスケットボール連盟(1997年設立)

会長 中山慶恵子 登録チーム数 8チーム
理事長 磯川治美 登録人数 95名

第17回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(宇都宮市)

連盟設立10周年を迎えて

栃木県家庭婦人バスケットボール連盟 理事長 磯川治美

昭和63年、第7回全国ママさんバスケットボール交歓大会に参加したのが、栃木県のママさんチーム(マロニエM・C)発足の第一歩でした。その後、烏山ママさんが結成され、しばらくはこの2チームでの活動が続きました。全国大会に参加するたびに、多くのママさんのパワーに圧倒され、まだまだやれるというエネルギーを貰って帰ってきました。

そして、平成8年に栃木県バスケットボール協会前会長の古島さんから連盟設立の話があったときは、全国大会の楽しさをもっとたくさんの人たちに味わってもらいたいと思い、連盟設立のお手伝いをしようと考えました。栃木県バスケットボール協会現会長の阿部さんを中心に何度も準備委員会を開き、平成9年に連盟を設立することができました。

しかし、「来年(平成10年)、全国大会を宇都宮で開く。」と聞いたときは、やっと立ち上がった連盟なのに、無謀ではないかと思いましたが、県協会やクラブ連盟の全面的な協力と全国家庭婦人バスケットボール連盟の皆さんのご指導・ご支援によって無事開催することができました。

この無我夢中ながらも達成感のある全国大会があったからこそ、第9回関東ママさんバスケットボール交歓大会(日光市)が、ママさん一人一人のエネルギーとアイディア、そして、それを支えてくださった方々のご厚意とで開催・運営することができ、本連盟の力を確認できた有意義な大会になりました。このときは、大会前日が大雨で、体育館の雨漏りに奔走した思い出があります。

県内の活動は春の全国・関東予選を兼ねた交歓大会と秋の交歓大会、夏に足利で開催している藤本杯(故藤本副会長を偲ぶ近県の交流大会)の3大会です。チーム数も8チームとなかなか増えませんが、みんなが楽しめる、みんなでつくり上げる連盟にしていきたいと思います。





山形県家庭婦人バスケットボール連盟(1997年設立)

会長 菊池啓子 登録チーム数 4チーム
理事長 羽柴節子 登録人数 49名

県連盟創立10周年を迎えて

山形県家庭婦人バスケットボール連盟 理事長 羽柴節子

1997年に県連盟を設立し、10年を迎えることができたのもひとえに登録してくださるチーム関係者の方々のおかげと感謝しております。

毎年、高年齢化という厳しいチーム事情を抱えながらも継続して存続させていただいている努力は、やはり根強いバスケット愛に他ならないものを感じています。

10周年にあたり特別な行事は行わなかったものの、ママさんチームへの導引を主旨とする連盟主催による『かみのやまレディースフェスティバル』というローカル大会を企画開催致しました。ママさん中心に未婚の選手も交えたチームで8チーム参加による大会で今年2月と10月に行ったところです。

今後も連盟は1チームでも多く登録できますようにさらなる活動を続けていきたいと思っております。



神奈川県家庭婦人バスケットボール連盟(1997年設立)

会長 野尻威 登録チーム数 25チーム
理事長 後藤淳子 登録人数 384名

神奈川県家庭婦人連盟10周年を迎えて

神奈川県家庭婦人バスケットボール連盟 理事長 後藤淳子

10年一昔と申しますが、もう10年たってしまったのか…? と言う思いです。最初に連盟を立ち上げるときには、これからどうやってすすめて行けば良いのかとても不安でした。幸いクラブ連盟の方々から指導して頂なんとか今のような連盟になって来ました。

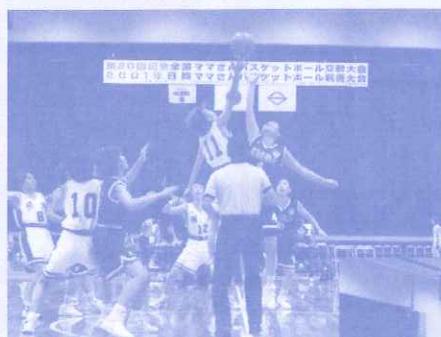
連盟初めての行事1991年第5回関東ママさんバスケットボール交歓大会が回って来ました。

まずはお金を集めなければいけない会場はどこにするか、始めてなので大変でした。協力してくれることになった小田原協会が地元の方々全員でお手伝いしてくれて大会を成功することが出来ました。地元協会の協力はとても嬉しかったです。

その2年後2001年第20回全国ママさんバスケットボール交歓大会が回って来ました。関東大会以上にお金はかかるし体育館の確保も大変でした。こうなりますと神奈川県協会の理事の方々から地元横浜協会の方々まで全員の協力を頂けないと成功する事が出来なかつたと思います。ママさんが大きな大会を行うときは県協会と地元協会と一緒に協力して行うとうまく行くのではないかと思います。

これから20年~30年とつづいて行くように努力しなければならないですね。若いこれからの方々に頑張って欲しいと思います。

みなさん10年は早いですよ…



10
周年**兵庫県家庭婦人バスケットボール連盟(1998年設立)**

会長 井澤正勝

登録チーム数 18チーム

第3回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(神戸市)

理事長 三木道博

登録人数 206名

10年の歩み

兵庫県家庭婦人バスケットボール連盟 理事長 三木道博

連盟設立から早10年。県協会会长をはじめ理事長、常任理事、関係者の皆様には多大なるご支援、ご指導を賜りこの日を迎えたこと、心より感謝とお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

10年間の歩みの中にはいろいろなことがあり、くじけそうにもなり又、励まされなんとか歩んでくる事ができました。

我が連盟は、連盟委員がすべてプレーヤーであること、任期ごとに変わる連盟役員、数回の役員改選の度に、立ち止まりそして進んでまいりました。登録チームの増減が毎年のように繰り返され、合わせて日本協会のチーム登録及び個人登録の実施では、登録チーム減少につながりました。県協会普及委員会からの独立による対策、近畿交歓大会(第1回及び第7回)の開催、近畿女性連盟の組織化、日本スポーツマスターズへの参加といろいろな事が思い出されます。

しかし、こうした事への取り組みを力に代え、魅力ある連盟運営が登録チームの確保につながることを念頭におき、連盟の課題と向き合い課題克服のため一歩一歩進めてきました。その結果、審判員の養成、TOの強化、役員の充実、そして登録チーム増加の足がかりを現実のものにする事ができたと自負しております。

まだまだ、微力弱小ではございますが連盟役員一同連盟の発展に努めてまいりますので今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

10
周年**秋田県ママさんバスケットボール連盟(1997年設立)**

会報第17号「連盟だより」に10周年の記事が載っています。

会長 千田典夫

登録チーム数 14チーム

第8回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(岩城町)

理事長 飯坂恵子

登録人数 172名

第13回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(岩城町)

10
周年**茨城県家庭婦人バスケットボール連盟(1997年設立)**

会長 宮田和夫

登録チーム数 14チーム

第25回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(水戸市)

理事長 阿部幸江

登録人数 159名

第6回 全国ゴールデンシニアバスケットボール大会開催(日立市)

10
周年**群馬県家庭婦人バスケットボール連盟(1996年設立)**

会長 田中忠義

登録チーム数 8チーム

第3回 全国ゴールデンシニアバスケットボール大会開催(中之条町)

理事長 神戸玲子

登録人数 119名

10
周年**静岡県家庭婦人バスケットボール連盟(1997年設立)**

会長 小池義之助

登録チーム数 14チーム

第23回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(静岡市)

理事長 富田あけみ

登録人数 184名

第5回 全国ゴールデンシニアバスケットボール大会開催(静岡市)

10
周年**熊本県家庭婦人バスケットボール連盟(1997年設立)**

会長 濱幸美

登録チーム数 2チーム

第14回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(阿蘇町)

理事長 山内郁子

登録人数 24名

10
周年**宮崎県家庭婦人バスケットボール連盟(1997年設立)**

会長 米山友子

登録チーム数 2チーム

第19回 全国ママさんバスケットボール交歓大会開催(宮崎市)

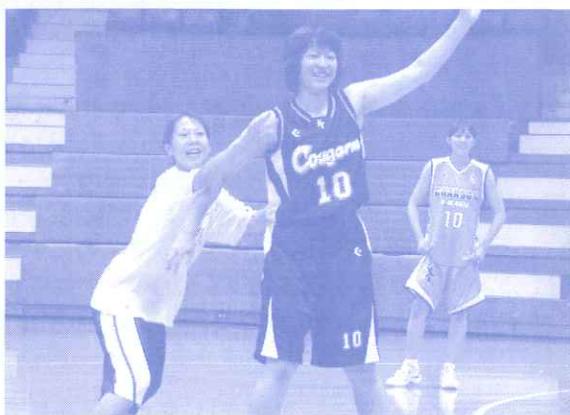
理事長 長山陽子

登録人数 45名

WJBL ママさんバスケットボールクリニック



WJBL主催のクリニックが8月5日の暑いなか、国立代々木第2体育館にて、関東地区を中心に27名の参加を得て開催された。同伴した小学生も飛び入り参加し、アップからゲームまで盛りだくさんの内容が繰り広げられた。JOMOアシスタントコーチの中野里美氏の元気な掛け声が響くなか、同じくJOMOの立川真紗美、富士通から田中沙季・田中優里、シャンソンは村田明佳、日立の加藤佑里そして山梨クィーンビーズ小沼郁美の各選手が受講者と一緒に走り回ってのクリニックとなった。現役選手と参加者を混合してチーム分けをしたゲームでは随所に好プレーがみられた。(普及委員会報告)



第28回 全国ママさんバスケットボール 交歓大会情報!

開催地:岡山県岡山市
会場:岡山県体育館(桃太郎アリーナ)・
岡山市総合文化体育館
期日:平成21年8月7日(金)~9日(日)

第8回 全国ゴールデンシニア バスケットボール大会 ~ねんりんピック in 北海道~

開催地:北海道札幌市(予定) 会場:未定
期日:平成21年9月5日(土)・6日(日)

大募集!!

会報「ザ・ママさんバスケット」では「連盟便り」のコーナーを設けています。このコーナーは都道府県連盟からの情報を頂き掲載しています。第18号の「連盟便り」は連盟設立30年・20年・10年を迎えた各県連盟の特集を組みました。
そこで、あなたのチームの情報を大募集いたします!

- ①連盟の事業や活動
- ②チームやチームメイトの話題

例えば…●00歳の人が頑張っています。●実はこんな仕事をしながらバスケットを頑張っています。●チーム名の由来やユニークな出来事。●バスケット以外でチームの自慢できる事。●こんなバスケットの練習をしています。など

会報「ザ・ママさんバスケット」は年2回の発行を予定しています。
下記担当者まで情報をどしどしお寄せ下さい。

〒336-0021 さいたま市南区別所3-23-5 海老原 矩子
TEL.048-863-3859 Eメール noriko-ebihara@jcom.home.ne.jp

お問い合わせ先とTEL・FAX

総務委員長: 榊原みどり → 東京都杉並区

競技・審判委員長: 後藤 淳子 → 神奈川県横浜市

普及委員長: 高岡 治子 → 東京都大田区

広報委員長: 海老原矩子 → 埼玉県さいたま市

事務局長: 榊原みどり → 東京都杉並区

【事務局】住所:

日本家庭婦人バスケットボール連盟

ホームページアドレスです。アクセスしてね!

<http://lady.jabba-net.com/>

発行: 日本家庭婦人バスケットボール連盟 代表者 橋本 章
編集: 日本家庭婦人バスケットボール連盟 広報委員会

ザ・ママさんバスケット

第18号)発行日: 2009年1月